



きずな

第35号



合志の中心で
愛をさげぶ



主な内容

平成25年度合志市一般会計
歳入・歳出決算を認定しました

平成26年度 一般会計補正予算

歳出、条例制定及び改正、請願、財産処分、意見書、
議員提出議案

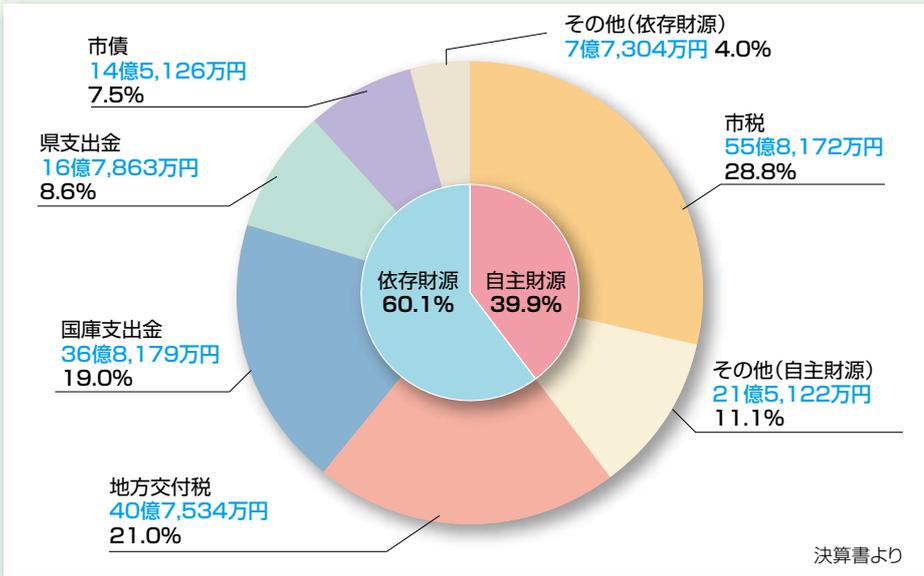
一般質問

11人の議員が市政について質問しました

インターネットでも議会の様子をご覧いただけます

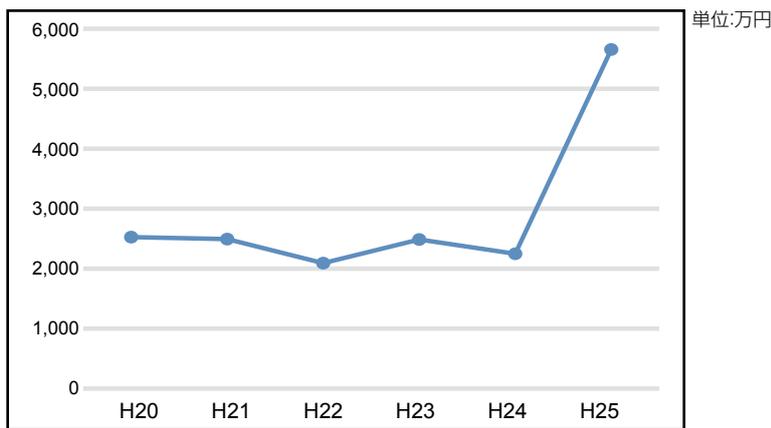
決算を認定しました

歳入(193億9,304万円)



※歳入は前年度に比べて2.5%、4億7,400万円増加しています。
 前年度比で市税は3億1,900万円、地方交付税は5億8,800万円、繰越金も7億8,700万円と減でしたが、平成26年度は改善しそうです。
 逆に、国庫支出金は10億5,100万円と大幅増になっています。
 なお、自主財源比率は前年度44.4%から39.9%で4.5ポイント減少しました。

財産収入の推移(H20~25)



※今回はその他(自主財源)の中の財産収入を取り上げます。
 財産収入とは、市が有する財産(公有財産、物品、債権、基金)の貸し付け等の運用により受け取る賃貸料、利息、配当金及び財産の売り払い等による現金収入です。
 特に基金は平成25年度末現在高67億円強、今までは定額預金での運用でしたが、平成24年度から国債で運用を開始しました。平成25年度の財産収入が大きく増加した要因は当年度2月国債を5億円売却し3,663万円の利益が生じたためです。
 国債は、金利が上昇すれば価格は低下し、金利が下がれば価格は上昇します。
 現在も国債を5億円保有していますが、議会としても今後の金利動向には注視していきたいと思っています。

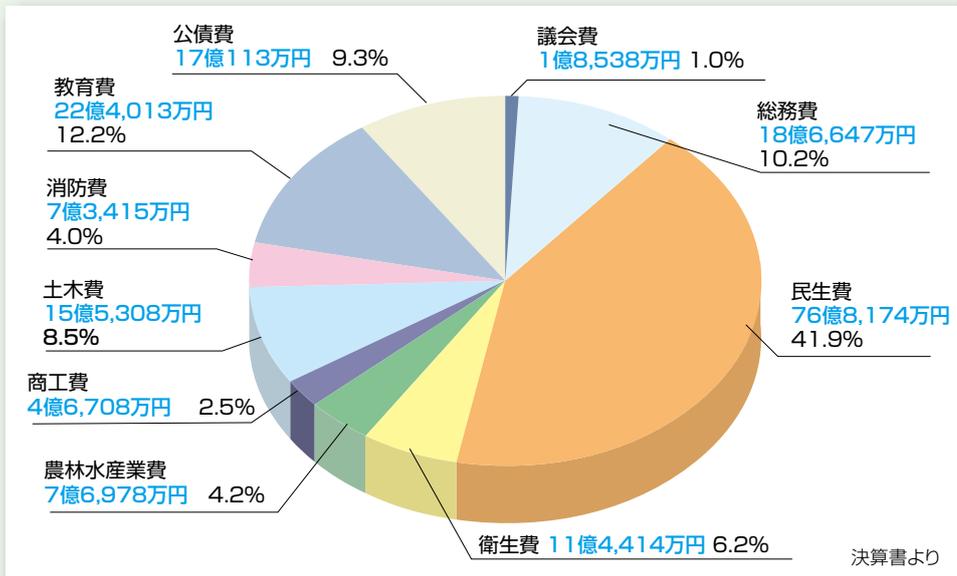
9月定例会は、9月2日(火)から24日(水)までの23日間の会期で開きました。
 条例改正、平成26年度補正予算、平成25年度決算など市長提出議案等20件、請願2件のほか議員提出議案5件を審査しました。ほか報告2件がありました。
 議決結果は、市長提出議案等20件を原案どおり可決・認定、請願2件採択、議員提出議案は4件可決、1件が修正可決となりました。
 一般質問は、11人が市政に関する問題を質問しました。
 今定例会には、延べ86人の方々が傍聴に訪れました。

平成26年第3回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
9	2	火	本会議	市長提出議案上程及び説明
	8	月	本会議	質疑、委員会付託
	9	火	常任委員会	付託事件の審査
	10	水		
	11	木		
	12	金		
	17	水	本会議	一般質問
	18	木		
	19	金		
	24	水	本会議	委員会報告(質疑、討論、表決) 議員提出議案(上程、質疑、討論、表決)

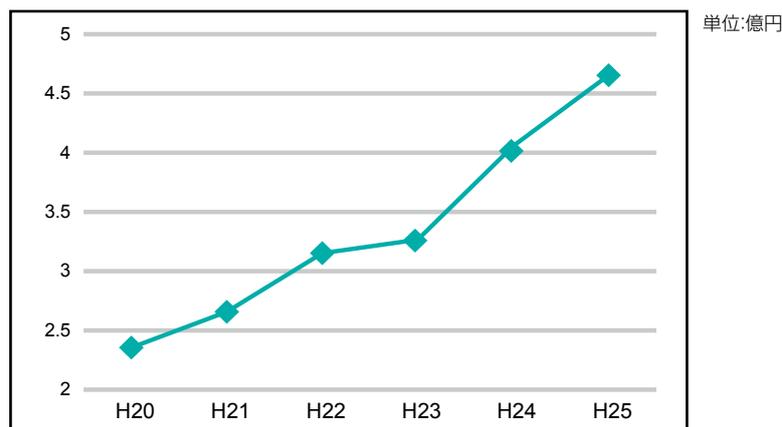
平成25年度 合志市一般会計歳入・歳出

歳 出(183億4,308万円)



※歳出は前年度に比べて4.1%、7億2,600万円増加しています。
特に民生費は前年度比10.9%、7億5,700万円増加傾向が顕著です。
民生費は生活保護、高齢者福祉、障がい者、児童福祉、母子福祉に関する費用と国民健康保険・介護保険特別会計への繰出金が主な費用です。

国保繰出金の推移(H20~25)



※民生費の中の国保会計繰出金についてを見ていきましょう。
国民健康保険制度は加入者からの国民健康保険税と国庫負担金等で運用されていますが、それでも財政的に厳しく、合志市も一般会計より繰り出しています。
平成24年~25年にかけて伸びが加速しています。
国民皆保険の根幹として制度を維持運営していくことは、重要な課題です。
しかしながら、医療費等の増大により財政不足も明らかです。
平成24年3月に続き平成26年9月、合志市議会より国に対し、国庫負担金を増額する旨の意見書を提出しました。一刻も早く健全安定した国民健康保険制度が待たれるところです。

平成26年度 一般会計補正予算

補正額 3億7,827万円

予算総額 183億106万円

歳出

- ・公共施設整備基金積立金
……………2億円
- ・感染症予防事業
……………3,521万円
- ・測量設計業務委託(飯高・八丁谷地区)
……………1,208万円
- ・市道舗装事業
……………1,600万円

条例制定及び改正

国の制度改正等に伴うものです

- ・合志市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定
- ・合志市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- ・合志市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- ・合志市営住宅条例の一部を改正する条例の制定

請願

- ・建設業従事者アスベスト被害者の早期救済解決をはかるよう国に働きかける請願書
- ・「農協改革」に関する請願書

財産処分

財産の種類	土地(蓬原第二工業団地用地 約10ヘクタール)
処分の相手	一般財団法人 化学及血清療法研究所 理事長 宮本誠二
土地の価格	5億円

議員提出議案 条例

- ・合志市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定
議員定数を21人から2人減し19人に改める

議員提出議案 意見書

- ・「国民健康保険制度改正に関する意見書」の提出
- ・「建設業におけるアスベスト被害者の救済と被害の根絶に関する意見書」の提出
- ・「川内原発再稼動に関する国の説明責任を求める意見書」の提出
- ・「川内原発再稼動に関する国の説明責任に対して、県の積極的な働きかけを求める意見書」の提出

賛否表

平成26年第2回臨時会(8月11日)

議員名		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	賛成	反対	
		議決結果	西島隆博	松本龍一	後藤修一	濱元幸一郎	上田欣也	青木照美	坂本早苗	尾方洋直	濱口正暁	坂本武人	吉永健司	神田公司	来海恵子	木場田孝幸	松井美津子	木村祐一	今村直登	丸内三千代	東孝助	島田敏春	池永幸生			
市長提出議案	予算	平成26年度合志市一般会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0
	その他	財産の取得	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0

平成26年第3回定例会(9月2日~24日)

議員名 議案等の名称		議席 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	賛 成	反 対	
		議決 結果	西 島 隆 博	松 本 龍 一	後 藤 修 一	濱 元 幸 一 郎	上 田 欣 也	青 木 照 美	坂 本 早 苗	尾 方 洋 直	濱 口 正 曉	坂 本 武 人	吉 永 健 司	神 田 公 司	来 海 恵 子	木 場 田 孝 幸	松 井 美 津 子	木 村 祐 一	今 村 直 登	丸 内 三 千 代	東 孝 助	島 田 敏 春	池 永 幸 生			
市 長 提 出 議 案	合志市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	18	2
	合志市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	18	2
	合志市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0
	合志市営住宅条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0
	平成26年度合志市一般会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0
	平成26年度合志市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0
	平成26年度合志市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0
	平成26年度合志市下水道特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0
	平成26年度合志市水道事業会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0
	平成25年度合志市一般会計歳入歳出決算	認	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	3
平成25年度合志市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	3	
平成25年度合志市介護保険特別会計歳入歳出決算	認	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	18	2	
平成25年度合志市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	3	
平成25年度合志市下水道特別会計歳入歳出決算	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
平成25年度合志市農業集落排水特別会計歳入歳出決算	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
平成25年度合志市水道事業会計利益の処分及び決算	可認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
平成25年度合志市工業用水道事業会計利益の処分及び決算	可認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
財産の処分	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
合志市道路線の廃止	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
合志市道路線の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
請 願 陳 情	建設業従事者アスベスト被害者の早期救済解決をはかるよう国に働きかける請願書	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
	「農協改革」に関する請願書	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
議 員 提 出 議 案	合志市議会議員定数条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	14	6	
	「国民健康保険制度改正に関する意見書」の提出	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
	「建設業におけるアスベスト被害者の救済と被害の根絶に関する意見書」の提出	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
	「川内原発再稼働に関する国の説明責任を求める意見書」の提出	修可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	
	「川内原発再稼働に関する国の説明責任に対して、県の積極的な働きかけを求める意見書」の提出	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	20	0	

※ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 可 可決 否 否決 認 認定 可認 可決及び認定 採 採択 修可 修正案可決
 ※ 採決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり ○ 賛成 ● 反対 長 議長 (議長は、議決には加わりません。可否同数となったときは裁決権を行使します。)

総務常任委員会

委員長 吉永 健司
委員 島田 敏春
委員 坂本 武人
委員 西 隆博
副委員長 東 孝助
委員 来海 恵子
委員 濱元 幸一郎

平成26年度合志市一般会計補正予算(第3号)について

(財政課)

問 公共施設整備基金について、基金積立額の目的と目標額を設定しているのか。

答 今後、学校施設を含め、多くの公共施設整備を控えており、その基金である。積立額の目標は設定していない。

(総務課)

問 研修負担金の目的と内容は。

答 早稲田大学マニフェスト研究所と一般財団法人地域経営推進センターが設立した人材マネジメント部会が、全国の地方自治職員を集め研修を行っている。中央集権で指示通達待ち型から、問題発見・解決型への人材育成が急務となっており、地域主権確立のために職員が研修を行うためである。

(環境衛生課)

問 一般消耗品について、看板作成、取り替えは。

答 自治会にゴミ減量化のための説明会を開催しているが、ゴミステーションの看板が老朽化し見にくいとの要望や、開発によるゴミステーションの増加に対応するため。

(市民課)

問 補充職員が15日勤務について

とだが、業務に支障はないのか。

答 支障のないよう市民課全体で対応している。新年度職員採用計画を含め庁内全体で検討していく。

(政策課)

問 飯高・八丁谷地区計画策定業務委託については、調査なのか、または実施を前提としたものか。また、住民意向調査の予定は。

答 地区計画を決定するための予算で、都市計画決定という区域設定を行うためである。近隣の工業団地、J-T等は説明を行い、理解を得ている。全体的な構想で、重点地域土地利用計画において市民を交え検討委員会を作り、計画・具現化するもので、理解を得ていると考える。

(商工振興課)

問 総合健康センター改修工事について、突発的な改修か。また、今後の改修計画は。

答 5年に一度の改修であり計画的である。今後の改修は、指定管理者と協議を行い、優先順位をつけ、調査を行っている段階である。

(財政課)

問 光熱費について、LED化等の工事を行ってきたが、効果は。

答 空調が一番大きく節電につながっており、その他も含め大きく効果が出ているが、電気料金等の高騰により金額は少額にとどまっている。

(総務課)

問 文書管理事業で、不用額が多い理由は。

答 処理単価が下がったこと、年2回の処理を実施してきたことにより書類の整理ができてきた成果と考える。

(税務課)

問 市税の収納状況は。

答 事業所のほとんどが特別徴収になり、現年度分については徴収率は上がった。過年度分は、なかなか上がらないが努力している。まずは現年度分について確実に徴収を行い、過年度分についても丁寧に説明、相談を行っていききたい。

(環境衛生課)

問 ゴミ袋原材料費の値上げやゴミ袋販売増等を鑑み、ゴミ袋単価値上げが必要では。

答 ゴミ袋単価については、監査の指摘もあり、課内で資料を集め検討段階にある。

(政策課)

問 フランス、レンヌ地方への派遣成果と進展は。

答 九州BCCとフランスBBC

(政策課)

問 事務事業検証結果と意見について、どのように対応、公表しているのか。

答 結果は、コメントを付して担当課に返し、今後の方針を検討、決定し、政策推進本部会議にかけ、市の方針を決定、内容をHPに掲載している。

(企画課)

問 事務事業検証結果と意見について、どのように対応、公表しているのか。

文教経済常任委員会

委員長 青木 照美 副委員長 松井美津子
 委員 今村 直登 委員 木場田孝幸
 委員 濱口 正曉 委員 坂本 早苗
 委員 上田 欣也

平成26年度合志市一般会計補正予算(第3号)について

(学校教育課)

問 学校施設整備費の公有財産購入について。

答 西合志第一小学校の職員駐車場及び行事開催時等の駐車場として使用するため、現在学校が無償借地している土地を購入する費用である。



西合志第一小学校駐車場予定地

(生涯学習課)

問 図書館運営協議会を2回分増額している理由は。

答 来年10年目で雇用が切れる嘱託職員が6人いる。専門的な人材の損失なので、一部業務委託できないか協議するため。

(農業委員会)

問 農地台帳システム改修について

て。

答 限られた項目についてののみ、インターネットで公表される。個人情報保護について注意が必要である。

(農政課)

問 畜産業費の特殊勤務手当の内容と見直しについて。

答 牛の予防接種に伴う危険手当である。見直しについては、全庁的に行い、現在残っているのは必要最小限の業務に限られている。

(都市計画課)

問 飯高山管理道路の改修について。

答 西側の登山道の階段部分を2.5メートル幅員で、緊急車両も登れるよう配に改修する。

平成26年度合志市水道事業会計補正予算(第1号)について

問 水道事業会計システム変更に係る一般会計システムとの関連について。

答 一般会計システムは変更しない。リンクさせなくても問題は無い。上下水道会計システムについては、効率性等を考慮し、同じ会計システムとするものである。

平成25年度合志市一般会計歳入歳出決算について

(学校教育課)

問 奨学資金貸付事業の貸付状況について。

答 昨年度は、応募者全員が規定に該当し、24人に貸し付けした。滞納者への督促、催告、訪問等の滞納整理を実施した。



完成した御代志第2配水地

問 文化芸術自主事業の利用率(入場者数)や運営について。

答 600万円で行った。内150万円は子ども劇団へ助成し、実質450万円で行っている。綿密な集客率を計算し、内容と入場料を設定している。

問 ハンセン病啓発事業に対する学校への取り組みは。

答 学校やPTAにも広く呼びかけた。転入者の参加が少ないことが課題である。

(農政課)

問 新規就農奨励金交付者のその後の状況について。

答 奨励金交付者で離農したとの情報はない。

(都市計画課)

問 公園管理において、地域住民での管理とシルバー人材センター委託がある。その実態把握について。

答 把握はできていない。嘱託員会議でも問い合わせがあっている。今年度の実績報告時に把握したい。(建設課)

問 上群・中林線の設計変更で、ボックスカルバート追加の理由は。

答 上群・中林線と途中交差する里道を平面的交差で計画していた。里道のこう配がきつくなり、車両の通行に支障をきたすため、立体交差へ変更した。

【反対討論】 解放子ども会学習開催事業は、ますます差別を助長することとなり反対。

【賛成討論】 差別は残っており、事業は続けるべきであり賛成する。

健康福祉常任委員会

委員長 木村 祐一
委員 神田 公司
委員 後藤 修一
副委員長 丸内三千代
委員 尾方 洋直
委員 松本 龍一

健康福祉常任委員会

合志市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について

問 心身の状況把握とは具体的にどのような支援を行うのか。

答 早急に詳細な規則・要綱を定める必要がある。また、支援が現水準を低下しないようにしていく。



増築中の中央保育園

合志市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について

問 市町村が行う研修についてはどのように考えているのか。また、条例中の「おおむね」について。

答 研修については、これからという段階である。「おおむね」の捉え方としては、基本的にないところではないが、閉鎖的にならないような体制を維持していく。

合志市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について

問 経過措置で当分の間とあるが、5年間という区切りを出せないか。

答 現状を考えると難しいので、当分の間とお願いしたい。支援の単位を40人に分けると解消するが、部屋の一人当たり面積がクリアできない。

なお、各条例の制定に関し、当委員会総意として現行サービスが下回らず、さらなる向上を図るよう指摘する意見があった。

平成26年度合志市一般会計補正予算(第3号)について

問 (高齢者支援課) 老人クラブ活動支援事業につ



さくらんぼ家庭的保育

【賛成討論】 高齢期における適正な医療の確保を図るため、医療費の適正化を推進し、高齢者の医療を行うための負担金であり、事業であり賛成である。

問 平成25年度合志市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について

答 平成25年度保険給付費が前年度比で1億5,000万円増えている要因は。

問 平成25年度合志市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について

答 現年度分調定額で240万円程しか増えていない。課税分の所得層あたりで違ってきていると思われる、所得割の9・26%の部分が影響していると思う。

【賛成討論】 後期高齢者医療広域連合負担金及び後期高齢者健診事業について制度から改革する必要があり反対である。

【賛成討論】 高齢期における適正な医療の確保を図るため、医療費の適正化を推進し、高齢者の医療を行うための負担金であり、事業であり賛成である。

【賛成討論】 被保険者の疾病等に対し必要な保健費を給付しており、国民保険の向上に寄与すると共に国民健康保険が協同の保険であることから賛成である。

【賛成討論】 高齢者の医療について国民協同連帯の理念に基づき、費用負担の調整や適正な医療費の交付を行う制度であり賛成である。

【反対討論】 後期高齢者支援金が国保会計歳出の中で多額を占めて

【反対討論】 後期高齢者医療制度に反対であり、後期高齢者だけを分離するだけで良いかということから反対である。

文教経済常任委員会

平成26年7月3～4日 福岡県筑後市・久留米市・佐賀県武雄市

【視察委員】

委員長	青木	照美	副委員長	松井美津子
委員	今村	直登	委員	木場田孝幸
委員	濱口	正晴	委員	坂本早苗
委員	上田	欣也	議長	池永幸生

7月3日 福岡県筑後市 農地集積、人・農地プラン

筑後市は、要土地基盤整備面積の全てが完了しており、水稲、麦、大豆の他に野菜、果樹、花、畜産など、本市と同様に多様な農業生産が行われています。農家数997戸、耕地面積2,030ヘクタール、農地集積率96%です。農地集積の取り組みは法人化を推進し、集積が促進され、現在19組織が法人化されています。人・農地プランについては、市農政課が対象となる地区の原案を作成し、検討委員会にて承認後に決定され、現在プラン数32、経営体数215であり、本市においても取り入れるべき内容が多数ありました。



7月3日 福岡県久留米市 中央学校給食共同調理場

調理場は平成22年度に建設され、行政職員6人とPFI方式による民間事業者（従業者数55人）で運営されており、市内中学校14校、生徒数7,030人に提供されています。郷土料理や世界の料理の献立などもありました。野菜については地元産野菜

を6割使用するなど地産地消にも努められています。PFI方式は経費の面から20%程度の削減効果があります。学校給食の教育における位置づけと、その供給体制について参考にするべき点があります。



7月4日 佐賀県武雄市 指定管理者導入の市図書館

指定管理者によって年中無休で運営されています。来館者は1日平均2,500人、図書貸出し数は1日平均1,500冊です。図書館と本屋さんと同じ場所で共存するという珍しいビジネスモデルとして注目されています。計画が発表されると、図書館業界に賛否両論の波紋を広げながらも、マスコミに取り上げられたこともあり、行政視察が殺到しています。これからの市民の多様なニーズとライフスタイルにあった図書館が求められると痛感しました。



議会運営委員会

平成26年7月7～8日 福岡県行橋市・筑紫野市

【視察委員】

委員長	坂本	武人	副委員長	尾方	洋直
委員	島田	敏春	委員	木村	祐一
委員	木場田	孝幸	委員	吉永	健司
委員	青木	照美	議長	池永	幸生

・議会運営について ・議会活性化の取り組みについて

7月7日 福岡県行橋市 市議会構成について

定数21名、5会派及び無会派3名、3常任委員会及び議会運営委員会、加えて2特別委員会が構成される。議運に関しては各会派から所属議員数に応じて選出された7名で組織されている。

政務活動費について

一人当たり月額25,000円で年度当初全額30万円を個人に支給。使途基準項目共通原則・指針で定めた収支報告により厳しく運用管理を行っている。



7月8日 福岡県筑紫野市 市議会構成について

定数22名、4会派及び無会派1名。3常任委員会及び議会運営委員会、加えて3特別委員会が構成される。議運に関しては、各会派から所属議員数に応じてドント式により選出された8名で組織されている。

政務活動費について

一人当たり月額3万円を年度当初全額36万円を会派に支給。政務活動費の交付に関する条例により9項目の使途基準を定め明確化しており、収支報告に関しても手引きを策定、会派会計責任者が所属議員の収支を管理し、まとめて事務局へ提出。さらに事務局で担当者がチェックをして議長に報告するという厳格な体制をとっている。



2学期制の導入を！

神田 公司議員



神田 労働安全衛生法の長時間労働者（教職員）集計表によると、月100時間を超える勤務、100時間〜80時間勤務が多い学校は合志南小、東小、合志中、西合志南中。こうなると制度的には改革が必要だ。子どもたちと向き合う時間を1時間でも多くとることが必要だ。そこで2学期制の導入を考えていい時期ではないか。教育長は、大津町で2学期制を経験されている。2学期制の導入についての考えは。

教育長 特に新学習指導要領が改訂されてからは、指導内容、授業時数が増えており、それに対応していくために長期休業の短縮とか、2学期制の導入が、これを機会に進んでいる。私は2学期制、3学期制の学校、両方とも経験した。その中でメリット、デメリットは、どの学期制においてもある。特に学校サイドから見た2学期制の長所は、各行事において始業式と終業式の部分で1回ずつ減ること。それから、評価表作成に要する業務が減ること、教職員の負

担軽減に私はつながっていると感じている。2学期制の導入には子どもたちの思いとか、学校側の業務内容とか、運用、全ての面で判断することが大事だ。子どもたちにとって、本当に2学期制が有利なのか、そうした意見とか現状を踏まえて、現在では3学期制度を維持している。容易に何でも制度を変えないでほしいという保護者の願いがあるのも事実。教職員の負担軽減という2学期制のメリットも私は十分理解しているので、慎重に研究をしてみたい。

神田 いま何を優先すべきか。この労働実態から子どもたちにかに向き合う時間をとるのかというのは、非常に大きな課題である。



大規模化と並行し
多忙化が進む小中学校

池尻地区開発の影響について

坂本 早苗議員



坂本 池尻地区開発による合志南小学校児童数の増加をどのように考えているのか。

学校教育課長 地区開発により200戸の分譲が予定されている。児童数の予測では合志南小の30年度は1,091人と推計している。学級数は8教室増える見込みである。

坂本 合併時に400人の合志南小が3倍近くなることで、体育館、プール、図書館等の対応はできるのか。
学校教育課長 関連施設については今後協議しなければならぬ。

坂本 この地区計画の着工時期は。
政策部次長 地区開発は地元地権者による組合の施工であり、農政局など関係機関との協議が必要。現時点では多くの不確定な部分がある。

市長 道路は市が整備するが開発は民で行うので、時期を示すのは控えない。

「ヴィーブルくんを合志市のゆるキャラとして認定しては

坂本 ヴィーブルくんは総合センター「ヴィーブル」のマスコットとして

作られたが、最近は県内外で合志市のPRに大活躍している。合志市のゆるキャラとしてきちんと認定し、貸し出し基準の整備も必要では。

生涯学習課長 貸し出し件数が増えているので内規を設けたい。正式に市のキャラクターとしての位置づけができれば、さらなる活躍の場が広がると思う。

今後検討したい。



合志のゆるキャラ
「ヴィーブルくん」

栄グラウンドの整備を！

坂本 合志地区には夜間照明の設備があるのは合志南小のグラウンドだけである。栄グラウンドをもっと整備してサッカーやウォーキングなど使いやすくできないか。

生涯学習課長 利用団体から正式な要望があれば、地区のご意見を聞きながら夜間照明について検討したい。夜間のウォーキング対応には防犯灯の設置を考えたい。

合志庁舎を、市の顔の一つに

上田 欣也 議員



上田 合志市はNPO法人熊本マンガミュージアムプロジェクトと、これまでどう関わってきたのか。

政策課長 このNPO法人はマンガ・アニメなどを活用して、新たな産業および雇用創出による地域経済活性化を目指すというところで、稼げる市をつくる一つの方策として相互に連携を図ってきた。

上田 今後、市はこのプロジェクトにどういう役割を果たすつもりか。

政策課長 今後市だけでなく、市の連携する企業、団体とのつなぎを行っていきたい。この法人等、民間の持つ人材、ノウハウ、知識、資金等によるマンガ文化の発信拠点としてのマンガミュージアムを合志市内に作ってもらえればありがたい。

上田 このNPOの愛称は、略して「クママン」というが、このプロジェクトの活動を合志市のホームページからのリンクという形で応援できないか。

政策課長 担当課と協議したい。

上田 市長は、合志市の顔と言えるものがないと言われるが、合志庁舎

を市の一つの顔と考えることはできないか。

総務課長 庁舎というのはその自治体のシンボリックな、ランドマーク的な建物でもあるので、合志庁舎も市の一つの顔ということができると思う。また庁舎においては、外観的には正面玄関、内部では市民ホールを含めた市民課窓口付近ではないか。

上田 その顔が、合志市をアピールする力に欠けていると感じるが。

総務課長 機能性やデザイン性は検討すべき時期に来ているのではないかと考える。

政策課長 窓口業務改善支援業務委託の検討の中でサイン計画、デザインされた庁舎の顔という面でも取り組みたい。



プロジェクトの成果の一つ

市民の暮らし

「安全と健康が第二」

尾方 洋直 議員



一 青少年の徘徊防止について

尾方 青少年の徘徊が近年広域化している。学校単位の対応を超えた状態であり、合志市生徒指導連絡会が開催されました。その内容について伺う。

教育審議員 連絡会の確認。①学校の指導の徹底として関連機関との情報の共有化。②学校自体の取り組み。担任あるいは学校担任が週1回定期的に家庭訪問を行い、生徒及び保護者との関係を持ち続け、信頼関係を大切にすること。③児童相談所、県警及び関係学校との情報の共有化を具体的に進め、対応を確認してきました。特に著しい問題行動をとった生徒については、児童相談所での一時預かり措置を取ってきました。さらに連携を取り強化してまいります。

二 健康づくり推進

尾方 国の医療費39兆円超、合志市の医療費負担の推移について伺う。

健康づくり推進課長 平成20年度約35億円でした。25年度は7億7,000万円(2割)増の42億

7,000万円でございます。

尾方 医療費削減のため、病気の早期発見早期治療として、国立がん研究センターの新検査法開発では採血1回で13種類のがんが発見できるという情報について伺う。

健康づくり推進課長 現在がんの複合検診、胃がんと肺がん乳がん、子宮がん、大腸がん等の所要時間は1時間程度かかっていますので、大幅に短縮されますし、必要な医療機器、施設等も不要となります。とにかく検診率アップにつながり、医療費が大幅に減少すると思われませんが情報が入っていませんので待ちたいと思います。



検診風景

通学路と

蛇ノ尾公園の整備

青木 照美 議員



青木 合志中西側道路の危険な大木について。

学校教育課長 市民からも枝の落下があり、危険との指摘を受けている。部活のランニングコースになっており、コースからはすように指示をしました。大木については来月をめぐりに枝の伐採をいたします。

青木 全伐はできないか。
建設課長 民有地でもあり、所有者と協議の上、今後検討します。

竹迫城公園と蛇ノ尾公園の一体化について

青木 上庄には竹迫城公園と蛇ノ尾公園がある。残念ながら2つの公園をつなぐ道路が未整備である。観光客誘致には道路整備が急務と思われるが今後の計画について伺います。

商工観光課長 道路整備については、現在のところ計画はありません。ただ観光客を公園に誘導するよう看板や誘導案内等につきましては、市の課題として検討いたします。

青木 蛇ノ尾公園については、虚空蔵さん前の湿地帯が未完成であるが、

今後の計画を伺います。

都市計画課長 蛇ノ尾公園において、見晴台前の湿地帯の部分を観光用、ホタル生息用に整備する要望があがっているため、平成26年度に地質調査を行います。湧水があるか否か。湿地帯になりますので安全面では特に検討し、調査に基づき整備します。見晴台については、シロアリにより腐食が進んでいるため、改修する予定です。

市長 今後は地元の人たちが中心となり活性化協議会（仮称）を作り、どのような公園づくりを目指すのか、協議をしていただきたいと思います。



蛇ノ尾公園の湿地帯

農協改革は

地域社会を潰す

今村 直登 議員



笹原地区のTPP問題について

今村 去年の6月議会でも質問し、1年以上経過したが、現状は去年より一層悪くなっている。この間、どんな対応をしたか。

環境衛生課長 前回質問のとき、代執行を含めた条例の改定を考えたが、顧問弁護士等から、条例の改定は難しいということ、担当職員で根気強く説得していくことで解決に当たっていくこととしたが、現在に至っている。

市長 土地の売買ということで、解決の糸口が見えたかのようなことが、それが進まなかった。市が事件の当事者ではないが、解決のためあらゆる手立てを行っていききたい。

「戦後レジームからの脱却」と農政について

今村 安倍政権は、国政全般において「戦後レジームからの脱却」を掲げている。農政の分野では、来年の通常国会で農協法、農業委員会法、農地法の大改定を行おうとしている。これらはTPPが締結されることを

前提としたものであり、これまでの農業政策を根底から覆すものだ。県に農地中間管理機構が作られることになっているが、これは農業、農民を助けるものになるか。

農業委員会事務局長 わが国の農業を取り巻く環境は、非常に厳しい状況にある。高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など危機的な状況である。また多面的機能としての国土の保全等に農地を効率的に活用することが求められている。新規参入者や企業等の参入の促進を目指している。

今村 中間管理機構の表向きの理由はそうだが、実際は今まで農業に参入できなかった大企業の参入を促進するものだ。地域を良く知っている農業委員会を事実上廃止して、県に肩代わりさせるもので、このことは地域社会を潰すことになる。



市の求める職員像、 今後の募集方向は！

濱口 正曉 議員



濱口 市の将来を見る時、新規採用職員の資質が大事になると思うが、平成26年度、社会人経験者1人の募集に至る経緯とその狙いは。

総務課長 社会人枠は今回初めての募集で、その考え方は社会人として培ってきた知識や能力を行政の中で大いに生かし、市の組織や職員の中に新しい風が吹き込まれることを期待している。

市長 今の公務員にはない「稼ぐ」という発想を持って、海外でも対応できる人材が応募されて来たらいいと思っている。

濱口 合志市の採用方針として求める職員像をどう設定しているのか。

熊本市では「高い志を持つ新しいチカラ」が求められ、福岡市では「市民から信頼される人材」を期待している。と募集要項に記載されている。

総務課長 本市が目指す職員像として5点を掲げている。①人権意識、②市民感覚③チャレンジ精神④経営感覚⑤説明責任のそれぞれを有する人材を求めるとしている。

市長 合志市を担っていく職員に対

して望むことは①緊張感をもち、②「報告・連絡・相談」を履行する環境をつくり、その上できちんと育てることが大事だと考えている。

濱口 総務省によると、全国的に空き家率が過去最高の13・5%と報道されている。合志市の現状と対応策は。



事務風景

空き家管理について

商工振興課長 合志市の空き家率は熊本県レベルと同じく、14・3%と推測され、防災・防犯上の危険家屋の撤去促進策として「空き家管理条例」、中古住宅の活用促進策として「空き家バンク制度」の制定が必要だと考えている。秋の臨時国会に提出予定の対策法案に従って具体的な対応を図っていききたい。

人権の まちづくりについて

松井美津子 議員



松井 ピロリ菌除菌治療で胃がん胃潰瘍などの予防になり、医療費の削減につながる。市民の健康を守る観点から特定検診の項目にピロリ菌検査の追加について。

健康づくり推進課長 胃や十二指腸潰瘍、慢性胃炎の方はピロリ菌除菌で改善するケースが多い。予防医療の観点から検討が必要である。

松井 土砂災害警戒区域とその区域について関係区長と関係住民への周知徹底と点検について。

総務課長 本市は急傾斜地崩壊重要危険箇所として32カ所位置づけている。指定区域の住民、行政区や消防団と連携して周知の準備中である。梅雨時に消防団幹部による災害危険箇所調査時に指定区域内に啓発チラシを配布し注意喚起を行っている。

松井 市民より、警戒区域のハザードマップの作成の要望について。

総務課長 来年度、土砂災害対策の最新データに基づくハザードマップを作成したい。

松井 避難所運営や、防災備蓄品の選定に女性の視点を生かしては。

総務課長 防災会議の中で女性の意見を踏まえて対応したい。

松井 人権教育について人の心の善性を引き出す教育について。

教育長 美しいものに感動する心、正義感、公正さ、人権を尊重する心の教育の推進を進めていく。

松井 人権のまちづくりの構想とその取り組みについて。

教育長 人権教育は、全庁的に全課が根底に据えて取り組む課題で、知識による啓発だけでなく生身の人と人の交流や参加体験型の研修を増やし「差別はおかしい」という市民の意識がまちづくりにつながる。

松井 危険ドラッグ対策について。

総務課長 防犯対策としての危険ドラッグに関する対策はしていない。



公明新聞より

子どもたちが 健やかに育つために！

来海 恵子議員



来海 今の教育にかけているのは日本古来からの精神教育で、親を敬ったり命を大切にすることで道徳教育はとても大事だと思います。市の現状と今一番子どもたちに教育以外で何がかけているのでしょうか。

教育審議員 道徳教育の重要性は言うまでもなく、基本的な生活習慣、自律性・生命尊重の3点を大事にする合志市の児童生徒に育てたいと思います。

来海 副読本は使われているのか。
教育審議員 児童生徒が興味関心を持ち、積極的に取り組むために、「熊本の心」を活用しています。

来海 学んだ道徳教育を生かすためにどのように取り組んでいるのか。
教育審議員 道徳の時間を核に、他教科や特別活動と組み合わせ一つのユニットとして学習しています。

来海 特別活動は有効だと考えます。合志中ではスマートフォンを使い方について生徒たちで話し合っており、上から押し付けではなく、生徒たち

がテーマに沿って話し合い、ほどこい落としどころを見つけ、自主性を尊重する子に育ててください。提案ですが、地域全体を見守り隊と考え、昼間は各小中学校、夜は警察に電話する連絡表を家庭に配布し、電話機の前に張ってもらったらいかがですか。学校は処罰ではなく実態を知ること、素早く対応することは大切です。地域の方々も、自分たちが子どもたちを守っているのだと防犯意識が高まると考えます。

来海 ぜひ、総務課防災班と連携されて回覧板で回されて各家庭の電話機の前に張っていたら、協力をいただきたい。何事かあつてからでは遅いんです。

は遅いんです。



今日も元気に！

貴重な竜門ダムの水

松本 龍一議員



米の価格と稲作について

松本 食生活の変化に伴い、米の消費が減ってきている。13年産は売れ残って在庫が増え、今年も過去にない米価の下落が見込まれる。新しい米政策は、飼料用の稲に補助金を出しているの、今後飼料用が増えるのではないかと。これに対して水が不足することはないのか。

農政課長 竜門ダムの水は、転作を3割と想定して、水田面積の7割に割り当てられているので、これを上回ることはできない。だから現在の水田面積を飼料用が主食用に置き換わる形で維持していきたい。今後、農家と転作や水の管理について協議していきたい。

花き振興法について

松本 これまで花の生産者や花業界が切望してきた「花き振興法」がつけられたが、どのような法律なのか。また市として、どのような取り組みが考えられるか。

農政課長 燃油や生産資材の高騰に

加え、輸入の増加、若年層の花離れ等により花の生産・販売は厳しい状況にある。そのため今後国産のシェアを奪還し、輸出を増やし、また花の伝統文化の継承や花の需要促進を図ろうとするものである。市としても、生産者の研修や公共施設やイベント等での花の活用促進により、花の振興を図っていききたい。

松本 ヴィーブルくんの着ぐるみの貸し出しが行われているが、使用の基準や規定が必要ではないか。
教育部長 いろいろな人が使つので、ヴィーブルくんのキャラクターを損なったり、子どもたちの夢を壊さないためにも基準や規定が必要である。今後検討していきたい。



かすみ草栽培の様子

ヴィーブルくんについて

松本 ヴィーブルくんの着ぐるみの貸し出しが行われているが、使用の基準や規定が必要ではないか。
教育部長 いろいろな人が使つので、ヴィーブルくんのキャラクターを損なったり、子どもたちの夢を壊さないためにも基準や規定が必要である。今後検討していきたい。

学校給食の民間委託反対 西合志の自校方式継続を

濱元幸一郎 議員



濱元 学校教育課長たち8名で構成された、学校給食の在り方庁内検討会での審議結果について伺う。

学校教育課長 旧西合志の6校については、平成31年までに給食センターを建設すべきとの結論に至った。また調理部門を民間委託、もしくは非営利法人等へ委託することが最善の方法であるという結論に至った。

濱元 私は旧西合志の自校方式のセンター化にも、学校給食の民間委託にも異議を申し上げる。学校給食は教育の一環との基本認識が教育委員会には足りない。民間委託を打ち出したのは論外だ。学校給食の現場に、経費削減を最大の目的に民間委託を導入すれば、学校給食が営利目的となり、人件費の削減、食材への影響など、給食の質が低下することが懸念される。また、公務員である栄養士の先生が指示を出し、民間企業に雇用された調理員の方が調理をするのは、職安法にも抵触して偽装請負になるのではないか。学校給食は献立をたてて、調理をして、子どもたちに提供されるまで、市が一貫して

責任を持つべきだ。見解を求める。
学校教育課長 民間委託の際は、市が一定の関与ができる部分で委託しなければと考えている。そういう仕組みづくりを考える。

濱元 学校給食は合志市の児童・生徒の成長という点からも全市民的課題。結論を出すまでに、保護者やPTA、教職員、そして子どもたちの意見を聞くべきだ。その意見を踏まえて、さらに1年は検討が必要だ。

市長 いろいろな人たちの意見を聞くことを妨げるつもりはない。私自身は民間委託をするとは言っていない。私の考えもある。来るべき時期に方向性を示したい。



追跡 あん質問はどぎゃんなった？

一般質問で以前取り上げたことが実現しました。

小中学校全教室にエアコンの設置

<問> 平成23年の12月議会で、小中学校の全教室にエアコンの設置を求める陳情があり、議会で採択された。夏場は教室内の温度が35℃くらいまで上がる。昨今では、家庭や公共施設でもエアコンの設置が当たり前になっている。子どもたちの健康・学習環境を守るためにも、一刻も早くエアコンの設置をすべきではないか。

(平成24年 12月議会で質問)

<答> 夏場の教室の温度が35℃くらいまで上がっているのは聞いている。エアコンの設置が普及する中、学校でも子どもたちの学習環境を整えて行く必要があると考えている。(執行部回答)



設置されたエアコン

市内小中学校253教室に設置
総費用 4億7,970万円
平成26年3月工事完了

学校の子どもたち、先生方から学習環境が良くなったと喜ばれています。

議員参加の主な行事



ワンパクすもつ大会
8月10日(日)ヴィーブルで第25回ワンパクすもつ大会が市商工会青年部の運営で行われ、幼稚園、保育園児98人、小学生163人が参加しました。



2回 熊本市議会議員研修会
8月19日(火)KKRホテル熊本で、県下14市の市議会議員研修会が開催され、同志社大学学長の村田晃嗣氏の話の聞きまし



須屋小屋地蔵まつり
8月23日(土)須屋地区の県道沿いで行われました。今回で39回開催されており、県下でも古くから行われている地蔵まつりです。



ミニバレー大会
9月6日(土)ヴィーブルで開催され、25チームの参加があり、市議会でもチームを作り参加し健闘しました。



長寿を祝う会
9月11日(木)国立療養所菊池恵楓園で行われました。「かえでの森」の園児によるアトラクションなどで賑わいました。



社会を明るくする青少年教育特別講演会
10月24日(金)ヴィーブルで行われ、社会を明るくする運動の作文の表彰発表と元オリンピックスキーツト選手藤本貴さんの講演がありました。

議会の動き

(7月～9月)

[7月]

- 2日 群馬県みどり市議会より「薬用植物栽培の取り組みについて」視察研修
- 3～4日 文教経済常任委員会行政視察研修
(筑後市・久留米市・武雄市)
- 7～8日 議会運営委員会行政視察研修(行橋市、筑紫野市)
- 11日 議会広報調査特別委員会
- 18日 全員協議会
- 23～24日 平成26年度熊本県北市議会連絡協議会(合志市)
- 25日 議会広報調査特別委員会
- 30日 全員協議会
常任委員会
- 31日 議会広報調査特別委員会

[8月]

- 4日 菊池地域正副議長・正副委員長・正副議会運営委員長研修会(合志市)
- 5日 議会広報調査特別委員会
上天草市議会より「議会広報について」視察研修
- 6～7日 全国市議会議長会研究フォーラム(岡山市)
- 11日 第2回臨時会
- 18日 熊本県市議会議長会
「熊本県知事との意見交換会」(熊本市)
- 19日 全員協議会
熊本県市議会議員研修会
- 26日 議会運営委員会

[9月]

- 2日 議会運営委員会
第3回(9月)定例会開会
- 8日 議会広報調査特別委員会
- 24日 第3回(9月)定例会閉会
- 29～30日 総務常任委員会行政視察研修
(太宰府市、大野城市)

一部事務組合行事報告

【出席議員】

- 8月18日 菊池環境保全組合議会全員協議会
木場田 坂本武
- 8月26日 第2回菊池養生園保健組合議会定例会
養生園内一斉美化奉仕作業
木村、松井 尾方、青木
- 10月7日 菊池環境保全組合全員協議会
木場田 坂本武
- 10月8日 第2回菊池広域連合議会定例会
池永、島田 来海、吉永
- 10月27～29日 菊池環境保全組合議会研修
(東京都、神奈川県)
木場田 坂本武

合志市議会だより「きずな」 が出来上がるまで

私たちが編集しています



私たちは、議会広報委員です。

「議会だより きずな」を編集しています。
一般質問の原稿は質問した本人が、また委員会報告は各委員長が、その他の記事は広報委員で分担しますが、全員で内容を検討し練り上げます。毎号、出来上がるまでに5回程度の会議を開きます。議会の活動を、読みやすく、分かりやすい紙面でお伝えすることが目標です。

ご意見、ご感想など、どしどしお寄せください。

お知らせ

12月議会は12月2日から開催の予定となっております。
ぜひ、傍聴においでください。
インターネットでもご覧いただけます。

平成26年第4回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
12	2	火	本会議	市長提出議案上程及び説明
	8	月	本会議	質疑、委員会付託
	9	火	常任委員会	付託事件の審査
	10	水		
	12	金	本会議	一般質問
	15	月		
	16	火		
18	木	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、表決)	

※日程は、変更になる場合があります。

議会だよりに対するご意見は、合志市議会事務局へ 電話 096-248-1111(代表) 248-2038(直通) Fax 096-248-2047 メールアドレス gikai@city.koshi.lg.jp

表紙のはなし

10月25日、県農業公園カントリーパークで開催された「こうし市秋祭り」。

市内ばかりでなく、県下一円から、家族連れをはじめ約1万5,000人が訪れました。

秋の一日を満喫すると同時に、合志市の素晴らしさを実感してもらえたと思います。



大声大会で合志市の良さをPR



福をまく弁天さま



住みよい環境を考えるエコまつり

議会広報調査 特別委員会

委員長 島田 敏春
副委員長 今村 直登
委員 上田 欣也
委員 後藤 修一
委員 松本 龍一
委員 西嶋 隆博

先日新聞にこんな話載っていました。
「伝わらなければ意味がない。住民目線の議会広報に」という見出しの記事でした。
私も議会広報づくりにたずさわり、早や4年目になり回数でいうと今回で14回目を迎えました。
最初のころは、先輩議員が作った広報を参考に作っていましたが、「これでいいの」と不安が残るままの発行であったように思います。
しかし、回数を重ね、他の市を研修しているりと自分なりに研究していく中で、議会広報は市民の皆さまに「市議会の動き」「市や国への提言」をお伝えする一つのアイテムという認識が生まれ、編集には毎回気合が入るところであります。「議会活動を広く知らせる議会広報も、新聞も読み手に伝わらなければ意味がない」という考えを常に心がけ、あと残る2回の編集作業を楽しみたいと思います。

(西嶋 隆博)

編集後記

